

最近、コンタクトレンズによる目の不調で病院を訪れる10代が増えているそうです。本校にも、コンタクトを使用している人は、かなりいるようですが、正しい使用法でコンタクトを装着していますか？

再度、自分は正しく使用できているか考えてみてください。

## 使い方次第では失明の危険性も・・・

誤ったコンタクトレンズの使用を続けると、失明する場合もあることを知っていますか？

目の中でレンズが割れるなどといった事故は、めったに起きません。

それより恐ろしいのは、目に見えない、レンズに繁殖する細菌や微生物です。

### 【アcantアメーバー角膜炎】

アcantアメーバーとは、角膜（眼球の表面）を食べて増殖する微生物です。薬の効き目が薄く、治療が困難な目の病気です。

コンタクトレンズに付着した細菌が、角膜の小さな傷から侵入し、そこから感染が広がっていきます。2週間用のレンズを1ヶ月使い続けたり、洗浄せず就寝したりすることで起こります。

コンタクトレンズは水分を周りにまとっています。その水分が、カビや微生物の繁殖を増殖させることとなります。きれいに洗浄されていれば問題ありませんが、洗浄できていない場合は危険性が高くなります。

ちなみに、水道水にもアcantアメーバーの原因である微生物は生息していますので、洗浄液がないから水道水で・・・というのは、絶対にやめてください。



#### 【使用上の注意点】

- ・ 使い捨ての場合は、使用期限を守る。
- ・ 水道水で洗わず、コンタクトレンズの洗浄剤で洗う。
- ・ 装用時間を守る。
- ・ 就寝前には外す。

酸素透過性が高く、長時間装用可能なコンタクトレンズがありますが、それでも目は酸素不足になっています。寝る時は、外すことを勧めます。

- ・ コンタクトレンズのケースは、毎回、きれいに洗い、必ず乾燥させてから使用する。

## 多発するカラーコンタクトレンズの眼障害

近年、おしゃれ用カラーコンタクトレンズを使用する若い女性が増加し、使用者の間で眼障害を起こすケースが多発しています。

### 【トラブルが多い理由】

- (1) 眼科医の指導を受けず、インターネットや雑貨店などで安いコンタクトレンズを購入している。
- (2) 眼科医の処方を受けず購入した安いカラーコンタクトレンズは品質が悪い。
  - ・ 黒目（角膜）に十分酸素が行かない・・・ 角膜炎
  - ・ こすっただけで着色が落ちる製品がある・・・ 結膜炎
  - ・ 色落ちした場合にはレンズ表面が凹凸状態になり、角膜を傷つける。 等



こういった状況が続いていると、角膜炎、結膜炎、角膜変形、視力不良を引き起こす場合がありますので、本来は、眼に負担のかかるカラーコンタクトレンズの使用は避けるべきです。